

法学研究所・シンポジウム

「小繫事件」を題材に 映画上映、講演、対談

シンポジウム「小繫事件」は、「入会権」について理解を深め、小繫事件が提起した問題の本質や現代的意義を探った。...



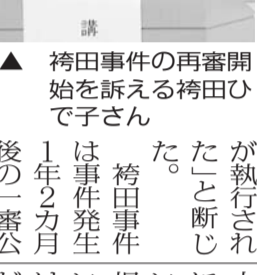
対談 側面をめぐって 法学部で弁護士としての戒能通孝氏の息・通厚氏(名古屋大学名誉教授)と、早稲田大学名誉教授・堀澤氏(早稲田大学名誉教授)が「ある自由人の生き方」...

今村法律研究室・冤罪フォーラム

「科学鑑定をもっと科学的に」

真摯な証拠開示を訴える6事件の弁護人

村法律研究室主催、所長 家永登室長が1月26日、神田キャンパスで開催され、100人が聴講した。...



▲ 再審開始を訴える 袴田事件の弁護人 袴田 隆子さん

03年、飛躍的に向上したSTR検査法が導入され、同事件はそれにより再審無罪となった。飯塚事件のDNA型鑑定はMCTI8型...

社会科学研究所・公開研究会

学生ら約70人が出席

社会科学研究所(所長 町田俊彦経済学部教授)は、2月に行われる現在(いま)をテーマに愛媛県での実態調査に先...

根ざした多様な「ものづくり企業」の実態、それらの技術や製品のデータベースを構築して産業活性化を図る愛媛県の取り組みを紹介した。...

商学研究所・公開シンポジウム



▲ ディスカッションで 小林守商学部教授のあいさつに続き、生田目崇商学部教授が導入講演を行...

情報化社会のサービス革新で 商・生田目教授らが講演

商学研究所(所長 渡辺 達朗商学部教授)主催の公開シンポジウム「情報化社会におけるサービス革新」が1月11日、サ...

日本語テスト学会で 片桐一彦文学部教授が最優秀論文賞受賞



米文学部に 写真 米文学部に 写真

時系列的に数量的に調査し、発達パターンを分析し記述した研究。本学より2009年度研究助成を得て行われた。また、



鈴木高弘専大附属高校長が「教育再生実行会議」委員に

鈴木高弘専大附属高校長が「教育再生実行会議」委員に

本研究は投稿に先立ち、2012年3月にポスターで開催されたアメリカ応用言語学会にてポスター発表もなされている。

メンタルトレーニングの大切さ説く 佐藤雅幸教授がプロ野球球団の新人研修会で講義

1月15日、川崎市よみうりランドの同球団合宿所で7人の新人を前に佐藤教授は、目標設定の方法や試合へ向けどう集中していったらいいかなど、メンタルトレーニングの大切さを...

高大連携聴講生 27人に修了証書 2012年度高大連携聴講生の修了式が1月26日、生田キャンパスで行われた。今年度は聴講生27人(高大連携協定校生7人、付属高校生20人)に修了証書が交付された。

聴講生からは「先生が初歩的な質問にも丁寧に答えてくださったので、国際経済について理解を深めることができました。」「自分が興味のある学問を専門的に学べるのは素晴らしいと感じた」といった感想が述べられ、大々学入前に良い刺激を受けた様子だった。